

歴史シンポジウム（採録）

平成16年11月28日

柏市中央公民館

はじめに　当会顧問・國學院大學講師

鈴木英夫

このシンボジウムのねらいは2点。第1点は2回の発掘確認調査の成果を踏まえ、「松ヶ崎城はどのよくな城だったか」を探ること。また、隣接する北柏駅周辺一帯の遺跡は、実は中世の道とそれに付随する宿だったといわれる巨大な遺跡。2点目は「それらの遺跡と松ヶ崎城はどのような関係だったのか」ということ。5年前は、「松ヶ崎城は海に面していた」との視点で水上交通を強調したが、今回は道という陸上交通を考えてみたい。どちらも今日結論の出る問題ではないが、一緒に考えていきたい。

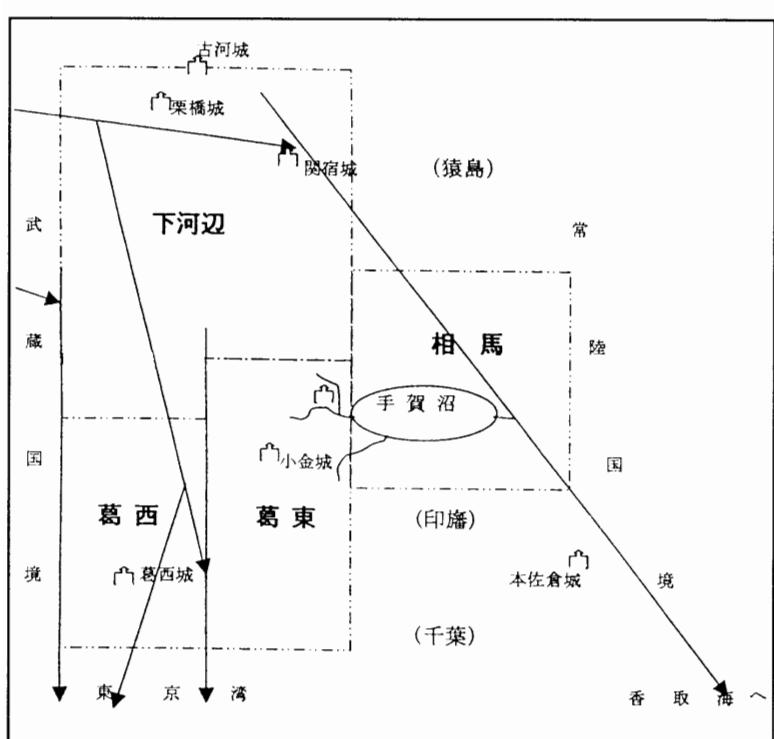
「手賀沼と水戸道中」

松戸市戸定歴史館
学芸員

中山文人さん

「手賀沼と水戸街道」というのは、交通の水路と陸路が象徴された言い方。中世の「小金領」（葛東郡（かつとうぐん））と呼ばれる地域単位でみたときに、この地域の水陸交通についてはどのようなことが言えるだろうかということを、今日はお話しする。

水路・陸路を併用した交通



- パネリスト
・中山文人さん
・間宮正光さん
・井上文男さん
・遠山成一さん
司会 鈴木英夫

レジメの文書史料は、戦国時代またはそれより後のもの。水陸共、流通に關係する資料は、この時代にはほぼ限られ、今回はその中でも小金領の時代を主に考察する。

まず川について（左図参照）。葛西と川（太田川）、その左側の葛西城の西を通りてするのが中川、「武藏国境」と書いてあるラインが隅田川・人間川の混じたような水域。右の方、「香取の海」と注記した、斜めの流れが今の利根川。当時銚子の手前県の境目あたり——には香取の海と呼ばれる非常に広い水面が広がっていた。東京湾と対比できるようなたくさんのが、今ではほとんどなくなってしまった。

港、津があり、霞が浦だけで 88 の津があつたと伝承されて
いる。

たどきの合流地点から少し南側 台湾地点は丁卯遼東の方で、その少し南側に位置することを覚えておいていただきたい。

これまで、今の利根川と当時の太田川・中川に類するものが関宿でつながっていたかどうかが長く議論され、現在も決着がついていない。具体的には、銚子の方から船で利根川を遡り、関宿で回り、江戸川を下つて東京湾にのるルート、及びその逆ルートが、室町時代や戦国時代にあつたかということ。あれば水運は盛んだったろうし、なければそうではないと。しかし、私はつながっていてもいなくていいと思う。2つの川を結ぶ陸路が発達していれば十分ではないだろうか。

水上交通に関する史料をレジメで紹介した。水戸・関宿・江戸ルートで「荷物を積みすぎてはいらないのに船底がつくのでは、はしけ船に荷物を積み替えて、難所の何ヵ所かを通過した」との事がわかる。また佐倉・関宿・葛西・栗橋の往復は、「舟1艘」の行き来で、せいぜいその程度の川だった。一つめは江戸末期、二つめは戦国末期の史料だが、全世界規模の気候変動がない限り、関東南部へ流れ込む川の総水量はそこ変わらない。戦国時代であれ、平安時代であれ、河川のルートが変えられても、水量がそれほど変わらない限り、川をそんなには使えなかつたのではないか。物理的要因や経済的要因が他にも考えられるが、大枠で私はこのように考える。

小金一向小金一篠籠田一高田一根戸ルート

き来する道がある」とが読みとれる。また、「中世の地勢」と地名一地図中の地名は、14～16世紀ぐらいまでにあつた

松ヶ崎城跡の確認発掘 調査でわかつた」と 山武考古学研究所

山武考古學研究員

間宮 正光さん

と地名」。地図中の地名は、14～16世紀ぐらいまでにあつたと確認されているもの。これだけ中世の地名がそのまま土地柄は、千葉県の中でも非常に珍しい。著名な「本土寺過去帳」の恩恵である。「この地域はさきほど話したように「2つの大きな港“香取の海”と“東京湾”へ通じる川・水系が一番近づく場所」。その一方の「香取の海への川・水系」の一つとして、手賀沼がある。

間宮さん・井上さんの講演は、ステイドを見たがれの
発掘報告。紙面の都合もあり、一部抜粋となりまし
たが、全体的な発掘結果はシンボ資料または柏市教育
委員会から発行予定の発掘報告書をご参照ください
(編集より)

私は考古学的手法で行われた平成14年度調査を報告する。同調査の主な目的は、松ヶ崎城の形態、使用時期と、どの程度残っているのかを把握すること。そのために、地形測量を行ひ、測量図を作成、またそれをもとに部分的に

掘り下げる確認調査をした。今日はシンボジウムのテーマの中世を中心に、スライドを見ながらお話しする。

堀と土塁があり、現状入り口に見えるところ。虎口前の狭い通路は上橋と考えてよい。当時通路は城の中へまつすぐ入って、かず、土塁でさえぎられて、一旦折れて入っていた。

櫓台（古墳）と考えられている高まりだが、円墳であることを確認。古代の墓である古墳を中心で段階で再度活用していることから、今河の調査で魯台の外側に城の構造があることを確認する。

に周溝を巡らすが、それを一旦埋めて、城用にあらたに堀を掘つて、いることが明らかになつた。この地区を守ろううとすると、意の表れで重要な発見だ。その堀の規模・全容は調査できず不明。

城中心部の郭1の北と西に造られている。土塁・堀について

【郭1】

城の中心で、建物跡が出るのではと期待された場所。痕跡を面的に調査しようと、かなりの範囲を掘つたが、土壠によく、しつかりした造りだ。堀はきれいなV字状。埋まつた土の状態から、人為的な埋めもどし、堀の掘りなおし、改修はないことがわかつた。西の堀底からあがつたところに小さな穴（小ビット）が検出され、同じようなものが北側でも確認された。柵か、土壠を作るときの何らかの支柱のようなものがあつた可能性がある。

状のものは寄せ集められた感じで、土壘とは判断できなかつた。郭1と郭2は一つで、方形の広い空間だった可能性が高かった。郭1と郭2は一つで、方形の広い空間だった可能性が高かった。郭1と郭2は一つで、方形の広い空間だった可能性が高かった。

This detailed archaeological map of the Kurokami Site illustrates the layout of various structures and features. Key elements include:

- Topographic Features:** Contour lines showing the terrain.
- Structures and Features:**
 - 地下式坑、土坑、溝、地業の跡 (跡)
 - 腰郭 (T)
 - 斜面部のピット群
 - 門跡、通路
 - 櫛台 (古墳 f)
 - 空堀 (T)
 - 測溝
 - 虎口イ
 - 虎口口
 - 虎口の傾斜した通路
 - 郭 I
 - 郭 II
 - 郭 II の土坑、柱穴
 - 常滑焼、土鍋、すり鉢出土
 - 土橋
 - 区画溝
- Numbered Points:** Numerous points are labeled with numbers such as 1T, 2T, 3T, 4T, 5T, 6T, 7T, 8T, 9T, 10T, 11T, 12T, 13T, 14T, 15T, 16T, 17T, 18T, 19T, 20T, 21T, 22T, 23T, 24T, 25T, 26T, 27T, 28T, 29T, 30T, 31T, 32T, 33T, 34T, 35T, 36T, 37T, 38T, 39T, 40T, 41T, 42T, 43T, 44T, 45T, 46T, 47T, 48T, 49T, 50T, 51T, 52T, 53T, 54T, 55T, 56T, 57T, 58T, 59T, 60T, 61T, 62T, 63T, 64T, 65T, 66T, 67T, 68T, 69T, 70T, 71T, 72T, 73T, 74T, 75T, 76T, 77T, 78T, 79T, 80T, 81T, 82T, 83T, 84T, 85T, 86T, 87T, 88T, 89T, 90T, 91T, 92T, 93T, 94T, 95T, 96T, 97T, 98T, 99T, 100T, 101T, 102T, 103T, 104T, 105T, 106T, 107T, 108T, 109T, 110T, 111T, 112T, 113T, 114T, 115T, 116T, 117T, 118T, 119T, 120T, 121T, 122T, 123T, 124T, 125T, 126T, 127T, 128T, 129T, 130T, 131T, 132T, 133T, 134T, 135T, 136T, 137T, 138T, 139T, 140T, 141T, 142T, 143T, 144T, 145T, 146T, 147T, 148T, 149T, 150T, 151T, 152T, 153T, 154T, 155T, 156T, 157T, 158T, 159T, 160T, 161T, 162T, 163T, 164T, 165T, 166T, 167T, 168T, 169T, 170T, 171T, 172T, 173T, 174T, 175T, 176T, 177T, 178T, 179T, 180T, 181T, 182T, 183T, 184T, 185T, 186T, 187T, 188T, 189T, 190T, 191T, 192T, 193T, 194T, 195T, 196T, 197T, 198T, 199T, 200T, 201T, 202T, 203T, 204T, 205T, 206T, 207T, 208T, 209T, 210T, 211T, 212T, 213T, 214T, 215T, 216T, 217T, 218T, 219T, 220T, 221T, 222T, 223T, 224T, 225T, 226T, 227T, 228T, 229T, 230T, 231T, 232T, 233T, 234T, 235T, 236T, 237T, 238T, 239T, 240T, 241T, 242T, 243T, 244T, 245T, 246T, 247T, 248T, 249T, 250T, 251T, 252T, 253T, 254T, 255T, 256T, 257T, 258T, 259T, 260T, 261T, 262T, 263T, 264T, 265T, 266T, 267T, 268T, 269T, 270T, 271T, 272T, 273T, 274T, 275T, 276T, 277T, 278T, 279T, 280T, 281T, 282T, 283T, 284T, 285T, 286T, 287T, 288T, 289T, 290T, 291T, 292T, 293T, 294T, 295T, 296T, 297T, 298T, 299T, 299T, 300T, 301T, 302T, 303T, 304T, 305T, 306T, 307T, 308T, 309T, 309T, 310T, 311T, 312T, 313T, 314T, 315T, 316T, 317T, 318T, 319T, 319T, 320T, 321T, 322T, 323T, 324T, 325T, 326T, 327T, 328T, 329T, 329T, 330T, 331T, 332T, 333T, 334T, 335T, 336T, 337T, 338T, 339T, 339T, 340T, 341T, 342T, 343T, 344T, 345T, 346T, 347T, 348T, 349T, 349T, 350T, 351T, 352T, 353T, 354T, 355T, 356T, 357T, 358T, 359T, 359T, 360T, 361T, 362T, 363T, 364T, 365T, 366T, 367T, 368T, 369T, 369T, 370T, 371T, 372T, 373T, 374T, 375T, 376T, 377T, 378T, 379T, 379T, 380T, 381T, 382T, 383T, 384T, 385T, 386T, 387T, 388T, 389T, 389T, 390T, 391T, 392T, 393T, 394T, 395T, 396T, 397T, 398T, 399T, 399T, 400T, 401T, 402T, 403T, 404T, 405T, 406T, 407T, 408T, 409T, 409T, 410T, 411T, 412T, 413T, 414T, 415T, 416T, 417T, 417T, 418T, 419T, 419T, 420T, 421T, 421T, 422T, 423T, 423T, 424T, 425T, 425T, 426T, 427T, 427T, 428T, 429T, 429T, 430T, 431T, 431T, 432T, 433T, 433T, 434T, 435T, 435T, 436T, 437T, 437T, 438T, 439T, 439T, 440T, 441T, 441T, 442T, 443T, 443T, 444T, 445T, 445T, 446T, 447T, 447T, 448T, 449T, 449T, 450T, 451T, 451T, 452T, 453T, 453T, 454T, 455T, 455T, 456T, 457T, 457T, 458T, 459T, 459T, 460T, 461T, 461T, 462T, 463T, 463T, 464T, 465T, 465T, 466T, 467T, 467T, 468T, 469T, 469T, 470T, 471T, 471T, 472T, 473T, 473T, 474T, 475T, 475T, 476T, 477T, 477T, 478T, 479T, 479T, 480T, 481T, 481T, 482T, 483T, 483T, 484T, 485T, 485T, 486T, 487T, 487T, 488T, 489T, 489T, 490T, 491T, 491T, 492T, 493T, 493T, 494T, 495T, 495T, 496T, 497T, 497T, 498T, 499T, 499T, 500T, 501T, 501T, 502T, 503T, 503T, 504T, 505T, 505T, 506T, 507T, 507T, 508T, 509T, 509T, 510T, 511T, 511T, 512T, 513T, 513T, 514T, 515T, 515T, 516T, 517T, 517T, 518T, 519T, 519T, 520T, 521T, 521T, 522T, 523T, 523T, 524T, 525T, 525T, 526T, 527T, 527T, 528T, 529T, 529T, 530T, 531T, 531T, 532T, 533T, 533T, 534T, 535T, 535T, 536T, 537T, 537T, 538T, 539T, 539T, 540T, 541T, 541T, 542T, 543T, 543T, 544T, 545T, 545T, 546T, 547T, 547T, 548T, 549T, 549T, 550T, 551T, 551T, 552T, 553T, 553T, 554T, 555T, 555T, 556T, 557T, 557T, 558T, 559T, 559T, 560T, 561T, 561T, 562T, 563T, 563T, 564T, 565T, 565T, 566T, 567T, 567T, 568T, 569T, 569T, 570T, 571T, 571T, 572T, 573T, 573T, 574T, 575T, 575T, 576T, 577T, 577T, 578T, 579T, 579T, 580T, 581T, 581T, 582T, 583T, 583T, 584T, 585T, 585T, 586T, 587T, 587T, 588T, 589T, 589T, 590T, 591T, 591T, 592T, 593T, 593T, 594T, 595T, 595T, 596T, 597T, 597T, 598T, 599T, 599T, 600T, 601T, 601T, 602T, 603T, 603T, 604T, 605T, 605T, 606T, 607T, 607T, 608T, 609T, 609T, 610T, 611T, 611T, 612T, 613T, 613T, 614T, 615T, 615T, 616T, 617T, 617T, 618T, 619T, 619T, 620T, 621T, 621T, 622T, 623T, 623T, 624T, 625T, 625T, 626T, 627T, 627T, 628T, 629T, 629T, 630T, 631T, 631T, 632T, 633T, 633T, 634T, 635T, 635T, 636T, 637T, 637T, 638T, 639T, 639T, 640T, 641T, 641T, 642T, 643T, 643T, 644T, 645T, 645T, 646T, 647T, 647T, 648T, 649T, 649T, 650T, 651T, 651T, 652T, 653T, 653T, 654T, 655T, 655T, 656T, 657T, 657T, 658T, 659T, 659T, 660T, 661T, 661T, 662T, 663T, 663T, 664T, 665T, 665T, 666T, 667T, 667T, 668T, 669T, 669T, 670T, 671T, 671T, 672T, 673T, 673T, 674T, 675T, 675T, 676T, 677T, 677T, 678T, 679T, 679T, 680T, 681T, 681T, 682T, 683T, 683T, 684T, 685T, 685T, 686T, 687T, 687T, 688T, 689T, 689T, 690T, 691T, 691T, 692T, 693T, 693T, 694T, 695T, 695T, 696T, 697T, 697T, 698T, 699T, 699T, 700T, 701T, 701T, 702T, 703T, 703T, 704T, 705T, 705T, 706T, 707T, 707T, 708T, 709T, 709T, 710T, 711T, 711T, 712T, 713T, 713T, 714T, 715T, 715T, 716T, 717T, 717T, 718T, 719T, 719T, 720T, 721T, 721T, 722T, 723T, 723T, 724T, 725T, 725T, 726T, 727T, 727T, 728T, 729T, 729T, 730T, 731T, 731T, 732T, 733T, 733T, 734T, 735T, 735T, 736T, 737T, 737T, 738T, 739T, 739T, 740T, 741T, 741T, 742T, 743T, 743T, 744T, 745T, 745T, 746T, 747T, 747T, 748T, 749T, 749T, 750T, 751T, 751T, 752T, 753T, 753T, 754T, 755T, 755T, 756T, 757T, 757T, 758T, 759T, 759T, 760T, 761T, 761T, 762T, 763T, 763T, 764T, 765T, 765T, 766T, 767T, 767T, 768T, 769T, 769T, 770T, 771T, 771T, 772T, 773T, 773T, 774T, 775T, 775T, 776T, 777T, 777T, 778T, 779T, 779T, 780T, 781T, 781T, 782T, 783T, 783T, 784T, 785T, 785T, 786T, 787T, 787T, 788T, 789T, 789T, 790T, 791T, 791T, 792T, 793T, 793T, 794T, 795T, 795T, 796T, 797T, 797T, 798T, 799T, 799T, 800T, 801T, 801T, 802T, 803T, 803T, 804T, 805T, 805T, 806T, 807T, 807T, 808T, 809T, 809T, 810T, 811T, 811T, 812T, 813T, 813T, 814T, 815T, 815T, 816T, 817T, 817T, 818T, 819T, 819T, 820T, 821T, 821T, 822T, 823T, 823T, 824T, 825T, 825T, 826T, 827T, 827T, 828T, 829T, 829T, 830T, 831T, 831T, 832T, 833T, 833T, 834T, 835T, 835T, 836T, 837T, 837T, 838T, 839T, 839T, 840T, 841T, 841T, 842T, 843T, 843T, 844T, 845T, 845T, 846T, 847T, 847T, 848T, 849T, 849T, 850T, 851T, 851T, 852T, 853T, 853T, 854T, 855T, 855T, 856T, 857T, 857T, 858T, 859T, 859T, 860T, 861T, 861T, 862T, 863T, 863T, 864T, 865T, 865T, 866T, 867T, 867T, 868T, 869T, 869T, 870T, 871T, 871T, 872T, 873T, 873T, 874T, 875T, 875T, 876T, 877T, 877T, 878T, 879T, 879T, 880T, 881T, 881T, 882T, 883T, 883T, 884T, 885T, 885T, 886T, 887T, 887T, 888T, 889T, 889T, 890T, 891T, 891T, 892T, 893T, 893T, 894T, 895T, 895T, 896T, 897T, 897T, 898T, 899T, 899T, 900T, 901T, 901T, 902T, 903T, 903T, 904T, 905T, 905T, 906T, 907T, 907T, 908T, 909T, 909T, 910T, 911T, 911T, 912T, 913T, 913T, 914T, 915T, 915T, 916T, 917T, 917T, 918T, 919T, 919T, 920T, 921T, 921T, 922T, 923T, 923T, 924T, 925T, 925T, 926T, 927T, 927T, 928T, 929T, 929T, 930T, 931T, 931T, 932T, 933T, 933T, 934T, 935T, 935T, 936T, 937T, 937T, 938T, 939T, 939T, 940T, 941T, 941T, 942T, 943T, 943T, 944T, 945T, 945T, 946T, 947T, 947T, 948T, 949T, 949T, 950T, 951T, 951T, 952T, 953T, 953T, 954T, 955T, 955T, 956T, 957T, 957T, 958T, 959T, 959T, 960T, 961T, 961T, 962T, 963T, 963T, 964T, 965T, 965T, 966T, 967T, 967T, 968T, 969T, 969T, 970T, 971T, 971T, 972T, 973T, 973T, 974T, 975T, 975T, 976T, 977T, 977T, 978T, 979T, 979T, 980T, 981T, 981T, 982T, 983T, 983T, 984T, 985T, 985T, 986T, 987T, 987T, 988T, 989T, 989T, 990T, 991T, 991T, 992T, 993T, 993T, 994T, 995T, 995T, 996T, 997T, 997T, 998T, 999T, 999T, 1000T, 1001T, 1001T, 1002T, 1003T, 1003T, 1004T, 1005T, 1005T, 1006T, 1007T, 1007T, 1008T, 1009T, 1009T, 1010T, 1011T, 1011T, 1012T, 1013T, 1013T, 1014T, 1015T, 1015T, 1016T, 1017T, 1017T, 1018T, 1019T, 1019T, 1020T, 1021T, 1021T, 1022T, 1023T, 1023T, 1024T, 1025T, 1025T, 1026T, 1027T, 1027T, 1028T, 1029T, 1029T, 1030T, 1031T, 1031T, 1032T, 1033T, 1033T, 1034T, 1035T, 1035T, 1036T, 1037T, 1037T, 1038T, 1039T, 1039T, 1040T, 1041T, 1041T, 1042T, 1043T, 1043T, 1044T, 1045T, 1045T, 1046T, 1047T, 1047T, 1048T, 1049T, 1049T, 1050T, 1051T, 1051T, 1052T, 1053T, 1053T, 1054T, 1055T, 1055T, 1056T, 1057T, 1057T, 1058T, 1059T, 1059T, 1060T, 1061T, 1061T, 1062T, 1063T, 1063T, 1064T, 1065T, 1065T, 1066T, 1067T, 1067T, 1068T, 1069T, 1069T, 1070T, 1071T, 1071T, 1072T, 1073T, 1073T, 1074T, 1075T, 1075T, 1076T, 1077T, 1077T, 1078T, 1079T, 1079T, 1080T, 1081T, 1081T, 1082T, 1083T, 1083T, 1084T, 1085T, 1085T, 1086T, 1087T, 1087T, 1088T, 1089T, 1089T, 1090T, 1091T, 1091T, 1092T, 1093T, 1093T, 1094T, 1095T, 1095T, 1096T, 1097T, 1097T, 1098T, 1099T, 1099T, 1100T, 1101T, 1101T, 1102T, 1103T, 1103T, 1104T, 1105T, 1105T, 1106T, 1107T, 1107T, 1108T, 1109T, 1109T, 1110T, 1111T, 1111T, 1112T, 1113T, 1113T, 1114T, 1115T, 1115T, 1116T, 1117T, 1117T, 1118T, 1119T, 1119T, 1120T, 1121T, 1121T, 1122T, 1123T, 1123T, 1124T, 1125T, 1125T, 1126T, 1127T, 1127T, 1128T, 1129T, 1129T, 1130T, 1131T, 1131T, 1132T, 1133T, 1133T, 1134T, 1135T, 1135T, 1136T, 1137T, 1137T, 1138T, 1139T, 1139T, 1140T, 1141T, 1141T, 1142T, 1143T, 1143T, 1144T, 1145T, 1145T, 1146T, 1147T, 1147T, 1148T, 1149T, 1149T, 1150T, 1151T, 1151T, 1152T, 1153T, 1153T, 1154T, 1155T, 1155T, 1156T, 1157T, 1157T, 1158T, 1159T, 1159T, 1160T, 1161T, 1161T, 1162T, 1163T, 1163T, 1164T, 1165T, 1165T, 1166T, 1167T, 1167T, 1168T, 1169T, 1169T, 1170T, 1171T, 1171T, 1172T, 1173T, 1173T, 1174T, 1175T, 1175T, 1176T, 1177T, 1177T, 1178T, 1179T, 1179T, 1180T, 1181T, 1181T, 1182T, 1183T, 1183T, 1184T, 1185T, 1185T, 1186T, 1187T, 1187T, 1188T, 1189T, 1189T, 1190T, 1191T, 1191T, 1192T, 1193T, 1193T, 1194T, 1195T, 1195T, 1196T, 1197T, 1197T, 1198T, 1199T, 1199T, 1200T, 1201T, 1201T, 1202T, 1203T, 1203T, 1204T, 1205T, 1205T, 1206T, 1207T, 1207T, 1208T, 1209T, 1209T, 1210T, 1211T, 1211T, 1212T, 1213T, 1213T, 1214T, 1215T, 1215T, 1216T, 1217T, 1217T, 1218T, 1219T, 1219T, 1220T, 1221T, 1221T, 1222T, 1223T, 1223T, 1224T, 1225T, 1225T, 1226T, 1227T, 1227T, 1228T, 1229T, 1229T, 1230T, 1231T, 1231T, 1232T, 1233T, 1233T, 1234T, 1235T, 1235T, 1236T, 1237T, 1237T, 1238T, 1239T, 1239T, 1240T, 1241T, 1241T, 1242T, 1243T, 1243T, 1244T, 1245T, 1245T, 1246T, 1247T, 1247T, 1248T, 1249T, 1249T, 1250T, 1251T, 1251T, 1252T, 1253T, 1253T, 1254T, 1255T, 1255T, 1256T, 1257T, 1257T, 1258T, 1259T, 1259T, 1260T, 1261T, 1261T, 1262T, 1263T, 1263T, 1264T, 1265T, 1265T, 1266T, 1267T, 1267T, 1268T, 1269T, 1269T, 1270T, 1271T, 1271T, 1272T, 1273T, 1273T, 1274T, 1275T, 1275T, 1276T, 1277T, 1277T, 1278T, 1279T, 1279T, 1280T, 1281T, 1281T, 1282T, 1283T, 1283T, 1284T, 1285T, 1285T, 1286T, 1287T, 1287T, 1288T, 1289T, 1289T, 1290T, 1291T, 1291T, 1292T, 1293T, 1293T, 1294T, 1295T, 1295T, 1296T, 1297T, 1297T, 1298T, 1299T, 1299T, 1300T, 1301T, 1301T, 1302T, 1303T, 1303T, 1304T, 1305T, 1305T, 1306T, 1307T, 1307T, 1308T, 1309T, 1309T, 1310T, 1311T, 1311T, 1312T, 1313T, 1313T, 1314T, 1315T, 1315T, 1316T, 1317T, 1317T, 1318T, 1319T, 1319T, 1320T, 1321T, 1321T, 1322T, 1323T, 1323T, 1324T, 1325T, 1325T, 1326T, 1327T, 1327T, 1328T, 1329T, 1329T, 1330T, 1331T, 1331T, 1332T, 1333T, 1333T, 1334T, 1335T, 1335T, 1336T, 1337T, 1337T, 1338T, 1339T, 1339T, 1340T, 1341T, 1341T, 1342T, 1343T, 1343T, 1344T, 1345T, 1345T, 1346T, 1347T, 1347T, 1348T, 1349T, 1349T, 1350T, 1351T, 1351T, 1352T, 1353T, 1353T, 1354T, 1355T, 1355T, 1356T, 1357T, 1357T, 1358T, 1359T, 1359T, 1360T, 1361T, 1361T, 1362T, 1363T, 1363T, 1364T, 1365T, 1365T, 1366T, 1367T, 1367T, 1368T, 1369T, 1369T, 1370T, 1371T, 1371T, 1372T, 1373T, 1373T, 1374T, 1375T, 1375T, 1376T, 1377T, 1377T, 1378T, 1379T, 1379T, 1380T, 1381T, 1381T, 1382T, 1383T, 1383T, 1384T, 1385T, 1385T, 1386T, 1387T, 1387T, 1388T, 1389T, 1389T, 1390T, 1391T, 1391T, 1392T, 1393T, 1393T, 1394T, 1395T, 1395T, 1396T, 1397T, 1397T, 1398T, 1399T, 1399T, 1400T, 1401T, 1401T, 1402T, 1403T, 1403T, 1404T, 1405T, 1405T, 1406T, 1407T, 1407T, 1408T, 1409T, 1409T, 1410T, 1411T, 1411T, 1412T, 1413T, 1413T, 1414T, 1415T, 1415T, 141

「平成15年度確認調査図面」(柏市教育委員会作成)に一部加筆

内側の側溝状のもの以外は建物跡、城の使用時期と直接結びつけられて考えら

松ヶ崎城跡の確認発掘調査でわかつたことⅡ

柏市教委文化課
文化財担当

井上文男さん

第2次調査は文化財保護委員会へ申請に許り、主郭を中心とした調査とあわせて周辺の調査を追加。全体を見てから結論を出すことになり、15年度再度確認調査を実施した。

北側斜面に細長いトレーラーを走らせたり、斜面の中間あたりから下に向かって柱穴が20カ所検出。規則性はみられず、任意に掘られた感しだす。柵か、作業をするときの何らかの支柱にした可能性がある。

櫛台（古墳^f）と北側にあるもう1つの古墳の間に、幅約2・2メートルの硬化した通路と、それを両側で挟む柱を据えた2個1対の門跡と思われる柱穴が検出された。それぞれの柱穴は、まず楕円形に大きく掘り、その中に木柱を埋めたらしく、柱を抜き取つたと思われる小型円形が楕円の中央部分に確認された。門跡の東側は櫛台、西側は堀（溝）により遮断されていた。これまでには、西側、南側にのみ虎口があると考えられてきたが、今回の門跡の發見で、東側にも虎口があることがわかつた。

用の痕跡がないことや出土遺物が乏しいことから、恒常的に使用された城と考えるのは難しい。

どちらにも、建物跡や使用状況を示す硬化面はやはり見られなかつたが、上墨付近で側溝、地下式坑、溝などの作業のあとが見られた。郭1は郭2に比べ、約80センチ低かつた。虎口1と上墨の内部から、内耳土鍋、土器すり鉢、

【4郭】

2条の溝が確認されたが、中世よりももっと古い時代、平安時代頃のものと考えられる。

【全体として】

1次・2次のまとめをお話しさする。松ヶ崎城は上堀・空堀に囲まれた方形単郭構造を基本とし、15世紀後半～16世紀前半の室町・戦国時代には造られていたものと考えられる。上堀の形状や構造が、版築技法や横矢掛かり(16世紀後半に用いられた土壠の積み方や城の構造)以前の方法によって構築されていること、出土遺物が常滑焼甕、内耳土鍋、土器すり鉢、土師質土器などが主体であることから判断。また、生活や戦争の痕跡が見受けられないことから、純粹な軍事施設とは異なる性格が考えられる。今後の課題としては、北東面で門跡が虎口として機能したかどうか、また空堀から土壠への立ち上がりや、北側斜面でみつかった小ピットが、一部か面的に広がるかの確認などが考えられる。

小ピットや柱穴のことがより広い面積で分かれれば、軍事的な意識を読みとることができる。

松ヶ崎城はどんな城だったか

千葉城郭研究会
事務局長 遠山 成一さん

松ヶ崎城の性格

城の上からは、方形館に分類していくと私も考える。館と城という言葉は、鎌倉から南北朝初期までは厳密に使い分けられていた。館は武士や領主階級の平時の日常の住居で、ようになると、館が防御を強め、館城(やかたじろ、かんじょう)となる。松ヶ崎城は、まさにそのような館城ではないかと当初は考えていた。

松ヶ崎城の年代は、「15世紀後半から16世紀前半」で、形や構造の上からも間違いないと思う。館城が出始めるのもほぼこの頃から。15世紀後半とは実年代で言うとし450年代。ちょうど1455年に関東では享徳の乱という大亂がおこる。15世紀後半というのは、享徳の乱と重なると考えただければいい。

松ヶ崎城は、はつきりと深い空堀を持つ。今私が勤務している四街道・印旛郡周辺には上堀だけで空堀を持たない方形館が結構あるが、在地の小領主の館跡ではないかと思う。ただ、松ヶ崎城はそれらと異なり、規模がもう少し大きいといふか、格式が高いと思う。松ヶ崎城を5年前に実際に見て、郭の中が外より低いのではないかと指摘したが、測量の結果もさうだった。このような例は佐倉の臼井屋敷跡、井野城跡、四街道市の池の尻館跡、千葉市南屋敷館跡の4カ所が見られる。松ヶ崎城も似ているが、決定的に違うのは生活した痕跡の有無。先にあげた中の3例では発掘により見つかったが、松ヶ崎城では見つかなかった。

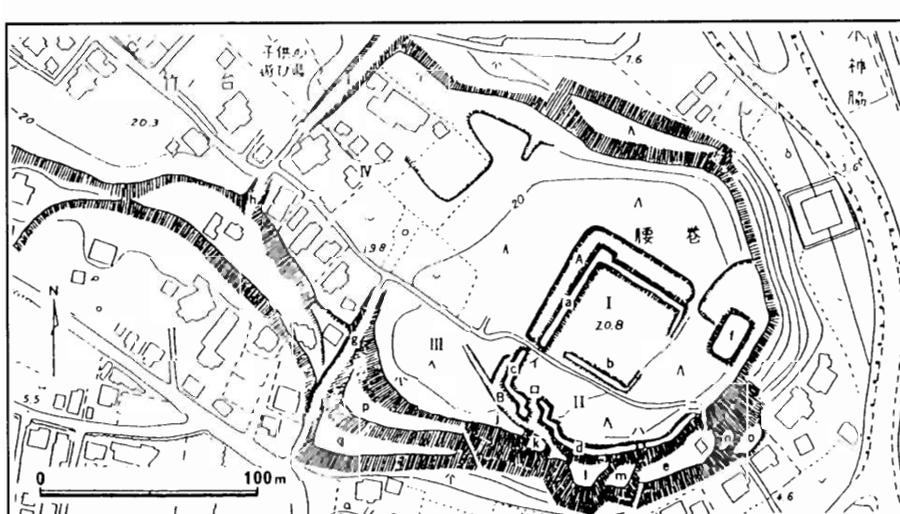
5年前のシンポジウムにも参加させていただいた。その後、確認発掘調査が行われたこともあり、これまでの経過と現時点でわかっていることを中心にお話したい。また、城郭を構造面から研究しているので、そういった面からの松ヶ崎城の話、さらには今日のねらいの一つである北柏駅付近の遺跡との関係にも触れられたらと思う。

「松ヶ崎城は前身に館があつて、その後改修した」という5年前の私の考え方は、発掘の成果から否定されるべきではない。

松ヶ崎城は戦国時代の始まる頃に造られて、16世紀の前半ごろまで利用されていたのだろう。ただ、城の性格は非常に難しい。発掘報告にあつたように「軍事的ではない」ということに、賛成せざるをえないのかと考える。

3つの虎口の謎

発掘の大きな成果は、3番目の虎口、「喰い違ひをもつた虎口」と、南側腰曲輪に降りる虎口の2カ所あれば十分



松ヶ崎城跡概念図(作図 石田守一氏)

(『千葉県所在中近世城館跡詳細分布調査報告書』1995)

で、郭は先端までふさがつてゐる形」と考えていたが、「櫓台」と思われる下という古墳と小円墳との間に門跡ができた。これは松ヶ崎城を考える上で非常に重要なポイント。これまでメインの虎口と思われていた口には、門柱らしき跡がなく、北東面に向いた虎口にはあるため、ここが松ヶ崎城のメインの虎口だろう。では、北東面の虎口はどう向かっているのか。北側斜面に腰曲輪があり、そのあたりに船着場があつたとの伝承があると聞いた。発想の飛躍があるかもしれないが、前船着場のほうへ向かっていた虎口ではないだろうか。

中馬場遺跡・法花坊館跡・根戸城跡との関係

法花坊館跡は旧日本軍の施設があつて残りが悪く、調査

も1970年

代で、現在は

何も残っていない。非常に

位置づけが難

しい館跡で、

最大の特徴は

1辺約200

メートルの土

塁と空堀と

に囲まれてい

ること。20

0メートル四

方というのは

千葉県では1

例もなく、

全国的にみて

珍しい。千

葉氏など有

力な氏族の

屋敷が方1町

の100メー

トル四方、地域の領主層になると、方半町の50メートル四方の館が普通。しかも土塁は、失われる前は高いところで3メートル近くあつたらしい。

背景には、築瀬祐一さんが最近明らかにした「流通の拠点であつた中馬場遺跡」を意識している館跡であつたことは間違いない。中馬場遺跡は宿という位置づけを築瀬さんは与えたが、私も正しいと思う。そこには流通にかかる莫大な富が蓄積されていたはず。具体的には中山さんが報告された「手賀沼水運」という水陸交通の接点であつたために莫大な富が集積され、非常に大きな館跡が造られたと考えるのが一番妥当。ただ、これ以上のところはわからない。高い土塁と、柱穴をめぐらされた空堀を持ち、かなり軍事的な面を意識した館跡で、柱穴はおそらく侵入者を防ぐためのもの。柵列、逆茂木、乱杭などではなかつたか。

同館跡について、「相馬御厨の関係施設」という意見もある。莊園はそれを管理する預所・雜掌といった、莊官の事務所のようなものがあるが、200メートルといつた、莊官の事務所のようないい考えられない。土塁の規模、空堀からすると、鎌倉までさかのぼるのは難しい。数少ない遺物は14～15世紀の瀬戸系の陶器片など。それが館跡の使用された時期と仮定すると南北朝から室町初期という年代が与えられる。土塁や空堀の規模からいつでも、このあたりではないかと考えられる。

では、支谷を隔ててすぐ南にある根戸城との関係はどうか。根戸城跡は一度見たが、明らかに戦国後期の構造で、北側に「根小屋の坂」という小地名もある。おそらく16世紀の後半、1550年代以降ぐらいの城ではないかと考えられる。

根戸城と松ヶ崎城は若干時代がずれる。おそらく最初法花坊館跡があり、それと重なるかどうかわからないが、松ヶ崎城が出て、その後根戸城が出るという年代観が与えられる。ただ、3者が同時期に存在したかどうか、細かな

ところまでは言えない。想像をたくましくすれば、松ヶ崎城が機能しなくなつたあとに、何らかの理由で根戸城ができるのではないか。たとえば松ヶ崎城の船着場が上砂の堆積などを使えなくなつたなど。

また、水戸街道の元の中世の道は、当時は手賀沼の低地部分におりたあと、松ヶ崎城の台地にとりついだのではないと思う。松ヶ崎城については今まで水上交通を主に考えてきたが、「水戸街道の元の道—中世にまで遡る街道」にもかなり関係している。私は関所的な役割を期待していたが、発掘の成果ではそれはでていないようだ。これから、中馬場、法花坊、根戸城なども含めた広範囲な歴史考察をしながら——さいわい根戸城はまだ残つているので——その関連の中で松ヶ崎城の位置づけを考えることが重要になると思う。

まとめに代えて

鈴木英夫

松ヶ崎城の確認発掘調査が2回行われ、遺構は確認されたけれども遺物があまり出でなくてがかりされた方も多いのでは。しかし今日の話を聞いておわかりのように、遺物がでてくるかどうかではなく、「新しい歴史的事実の解明」に役立つことが一番大切。その点では松ヶ崎城は、なぜか使用した痕跡がないという新しい謎を産んでくれた。その謎に取り組んでいる途中で、中馬場遺跡・水戸街道の元の道の存在も見えてきた。松ヶ崎城だけを見るのではなく、地域として見なくてはならない。前よりは立体的にみえるようになったが、より大きな問題を抱えた。今後も皆さんと一緒に謎を解明していかなければと思う。

本日はありがとうございました。

*この採録は講師の皆様に監修していただきました。また、当日はパネルディスカッションも行いましたが、ここで割愛します。

(浦久淳子)



中馬場遺跡位置図（迅速側図「我孫子宿」）

（梁瀬祐一著「柏市中馬場遺跡の中近世遺物について」2003）

中馬場遺跡の中近世遺物について
2003

方とも残っています。非常に位置づけが難しい館跡で、最大の特徴は1辺約200メートルの土塁と空堀とに囲まれています。これは方1町0メートル四方というのは珍しい。千葉県では1例もなく、全国的にみて珍しい。千葉氏など有力な氏族の屋敷が方1町の100メートル四方といふと、まさに松ヶ崎城を考へる上で非常に重要なポイント。これまでメインの虎口と思われていた口には、門柱らしき跡がなく、北東面に向いた虎口にはあるため、ここが松ヶ崎城のメインの虎口だろう。では、北東面の虎口はどう向かっているのか。北側斜面に腰曲輪があり、そのあたりに船着場があつたとの伝承があると聞いた。発想の飛躍があるかもしれないが、前船着場のほうへ向かっていた虎口ではないだろうか。

中馬場遺跡・法花坊館跡・根戸城跡との関係

法花坊館跡は旧日本軍の施設があつて残りが悪く、調査も1970年代で、現在は何も残っていない。非常に位置づけが難しい。館跡で、柱穴をめぐらされた空堀を持ち、かなり軍事的な面を意識した館跡で、柱穴はおそらく侵入者を防ぐためのもの。柵列、逆茂木、乱杭などではなかつたか。

同館跡について、「相馬御厨の関係施設」という意見もある。莊園はそれを管理する預所・雜掌といった、莊官の事務所のようないい考えられない。土塁の規模、空堀からすると、鎌倉までさかのぼるのは難しい。数少ない遺物は14～15世紀の瀬戸系の陶器片など。それが館跡の使用された時期と仮定すると南北朝から室町初期という年代が与えられる。土塁や空堀の規模からいつでも、このあたりではないかと考えられる。

根戸城と松ヶ崎城は若干時代がずれる。おそらく最初法花坊館跡があり、それと重なるかどうかわからないが、松ヶ崎城が出て、その後根戸城が出るという年代観が与えられる。ただ、3者が同時期に存在したかどうか、細かな

新潟県中越地震

長岡からの報告

青山 和平

私は千葉県柏市に住んでいる視覚障害者です。目は光と影がわかる程度ですが、猪突猛進といいかげんさでどこにでも出かけています。ネハールにも行きました。10年前には、ヒマラヤのアンナ・ブルナの近くまでグルン渓谷を歩いています。

私は中越地震の後、間もなく長岡に行きました。はり灸指圧で被災者の皆さん的心と体を癒せるかも知れないと思い、出かけて行つたわけです。

11月の始めは、まだ震度4や5の余震が毎日起るよう時期でした。この余震のために、壊れていない家々の皆さんも夜には公民館などで寝泊りしていました。私が最初に泊ったところは、長岡市神田コミュニティセンターでしたが、そこに来られる皆さんもそんな方々で、おばあさんたちの中には余震の恐怖に泣き出す人が何人もいました。山古志村梶金の関さんは、すさまじい本震でアッという間に崩れ去つたそうです。ドカンという音と共に、座っていた関さんは空中に放り上げられ、ごろごろ転がされている間に、巨大な梁が落ち、壁が崩れ、後で見るとすべてが瓦礫の山となつてました。関さんは、何がおきているのかわからぬまま、何とか這い出してきました。次の余震までの10分くらいの間に出られたからよかつたものの、「もう少し遅れたらどうなつていたかわからなかつたよ」と、40センチか50センチのわずかな隙間を、奥さんと共に這い出してきた恐怖を語ってくれました。

私は、余震が続いている長岡に11月5日から1週間、12月1日から10日間いました。最初の時には皆心が落ちつかず、不安がとりまいていました。余震、布団と布

団がくつっているプライバシーのない暮らし、将来への不安、崩れ去つた家々を思い出しては涙し、それはそれではたまらない状況でした。それでも明るく、冗談を言い合いながら集団生活の煩わしさを吹き飛ばしていましたが、その雰囲気に慣れなくて、戸惑っている人も少なくありませんでした。そのような人は睡眠不足や胃痛を始め、自律神経失調症の入り口に立つていました。

私は、たまたま自律神経失調症や神経症などをはりや指圧で治すことを専門にしていました。ですから、話を聞くことや元気づけるのも仕事の一つでしたので、この皆さんと、すぐに打ちとけられました。

この被災地には、慰問やボランティアに来る人々が全国から訪れていました。さだまさしみたいな有名人から、私のように名もない者までと様々です。ここが選挙区である田中真紀子夫妻も、私がいた2回ともやつて来ていろいろ話ををしてきました。名もなき人々の中には、石狩鍋を携えて北海道からやつてきたボランティア団体、神戸の美容室組合、山梨からは抹茶やコーヒーを提供する一日喫茶店、本当に様々なボランティアに出会いました。私が一番感動したのは、宮城から来たお父さん＆おじいちゃんコーラスです。電子ピアノを携えて、懐かしいメロディーをたくさん歌つてくれました。「みかんの花咲く丘」「とんがり帽子の赤い屋根」と懐かしい曲が進むにつれ、私の胸は熱くなり、「青い山脈」の時にはついに涙がこぼれきました。気がつくと周りの人々もみんな泣いていました。ボランティアに来ていた若者も涙し、体育館そのものが泣いている、そんな感じがするほどすばらしい感動でした。

ボランティアは様々な段階があると思います。やや強制的なもの、自己表現や自分探しのレベル、社会や周囲の人々に感謝の気持ちでボランティアをする人、そしてマザーテレサのような人もいます。全ての人がマザーテレサのようになるわけではありませんが、それを目標にし、心を、魂を磨いていけばよいのではないかと思つています。

中越地震のボランティアになぜ参加したのかというと、視覚障害者が一般的な社会の中で、しかも緊急事態においてどれだけ貢献できるかを、実践したかつたからです。

今回、私より早く東京の両国からやって来た大田さんという視覚障害者がいました。この人を始め多くのお視覚障害者が、マツサージやはり灸などでボランティアをしていました。このことはある一定の条件があれば、障害者でも十分社会貢献できることを意味しています。

私は、山古志村に外部からまだ人が入れない時に、

仲良くなつた村の人連れて行つてもらいました。歩いている舗装道路には、亀裂が何百メートルも続いていたり、突然50センチもの段差ができてしたり、それはひどいものでした。雨が降り、土砂で大きな亀裂が埋まり、そこが柔らかるために足がもぐつてしまつたようです。田んぼの水が、あぜ道から流れ落ちていました。その田んぼには、砂が噴出した跡があり、杖で刺してみると、柔らかな砂の感触でした。これだけでもすごいのに、連れて行ってくれた人が「山古志でもここが一番被害が少ないんじゃないかな」とほつりと漏らすのを聞いて、いかにこの地震が激しいものだったのかを感じました。山古志村は鯉と闘牛の村です。家は何とか持ちこたえても、牛小屋が潰れ、屋根が牛を助けることができません。その牛に最後の水を汲んでやると、おいでそうに飲んでいたそうです。それを見ながらヘリコptaに乗り込んで避難して行く、やるせない気持ちが涙となつて後から湧き上がってきたそうです。

今回私は今まで経験できないことを経験し、様々な人々に出会い、本当に多くのことを学ばせてもらいました。私が十を持って行つたならば、千・万のものを貢つて帰つた氣がします。そして、大変申し訳ありませんが、地震によつてここに参加できたこと、さまざまなかつて出会えたことを、感謝しております。

地域史を話す会、毎月開催中♪

毎月第1日曜日の午後に、会員有志で地域の歴史あれこれについて話しています。4月は次の通り▽4月10日(日)午後1時▽柏駅東口近くの駅前通商店街会議室(イトーヨーカ堂のある通り、レストラン伍平の3階。旧水戸街道近

会ホームページ、会員専用メーリングリスト開設中

く▽参加無料▽問い合わせ事務局

ですが、名前の登録が必要です。HPトップページのお問い合わせアドレスまでお申し込みください。

△04-7133-6438
松平さん

民館)
シンボ参加141人
「地域史を話す会」9回
平成17年2月20日
(柏駅前通商店街事務室)
ミニ講演「相島井上家について」スピーカーは中津川

督章さん。参加9人。
ですが、定員は5人まで。
詳細はお問い合わせを。
同じく下記、会費問い合わせ先まで。お名前、郵便番号、住所、電話、ファックス、メールアドレスをハガキ・メールアドレスでお知らせください。会費は下記

△04-7133-6438

松平さん

△04-7133-6438</p